

## 訂正

8ページ

28期同期会の開催日、開催場所、参加人数に誤りがありました。

<正>

2018年6月17日(日)

於 関内パセラ 73名

深くお詫びし、訂正させていただきます。

# 同窓会報

Vol.  
62・63



会長ご挨拶

校長ご挨拶・・・・・・・・・・・・・・ 2

OB 紹介・・・・・・・・・・・・・・ 3

先生方からのメッセージ・・・・・・・・ 4～5

同窓会の活動・・・・・・・・・・・・・・ 6

同窓会主催の活動・・・・・・・・・・・・ 7

同期会、部活OB会・・・・・・・・・・・・ 8～9

寄付者御芳名・・・・・・・・・・・・・・ 10

同窓会表彰 ほか・・・・・・・・・・・・ 11

総会開催案内 ほか

## 新しい南高

同窓会 会長 石川 直弘 (9 期)



南高が中高一貫校として再スタートしてから早くも 8 年目を迎えています。8 年前私たち同窓会は PTA、後援会とともに南高を一旦廃校にして中等学校にすることに反対し、南高を残した形の一貫校にすることに運動してきました。高校からの入学生が 1 クラスと少ないのですが、南高附属中 4 クラス、南高 5 クラスの現在の形になって新しい南高が生まれました。横浜市立の 2 番目の中高一貫校サイエンスフロンティア高校も附属中を併設する形になりましたので、南高が良き先例になっているといえます。

平成 31 年 3 月には南高 63 期生（南高附属中 2 期生）191 名が卒業し、62 期生（南高附属中 1 期生）の素晴らしい進学実績に勝るとも劣らない実績でした（南高のホームページをご覧ください）。

南高の教育方針は当初私たちが心配した学力至上主義、有名大学第一主義にはならず、生徒一人一人に将来を考えさせた進路指導を行っているといえます。レベルの高い合唱コンクール、中高生が一緒になって盛り上げる体育祭、お祭りの伝統を受け継ぐ舞台の部そして展示の部等々、南高の良き伝統の心は受け継がれているように私は思います。一方、教育課程でのコミュニケーションやプレゼンテーション、ディスカッションを大切に育てるカリキュラムや授業は教育界では先端を行っていると思います。

同窓生の想いと学校の新しい方針が相互に親密な協力関係を持ち続けるためには不易と流行のバランスこそが最も大切なことだと思います。同窓会にも「新しい南高」の同窓生が新風を吹き込んでくれることを期待しています。



# 校長ご挨拶



## ご挨拶

横浜市立南高等学校・南高附属中学校 校長 三浦 昌彦

同窓会の皆様には、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

同窓会におかれましては、本校の充実・発展のために御支援・御協力、また、多大なる援助を賜り、紙面ではございますが、全会員の皆様方に、厚く御礼申し上げます。

さて、平成31年3月には南高63期生である190人（1クラス募集2年目の入学生と南高附属中2期生）が「更なる高みを…」目指して3年間を過ごした「南高」を卒業しました。また、今年度から南高の校長が南高附属中の校長を兼務することになり、南高生徒579人、南高附属中生徒480人、合計で生徒1059人と共に「次なるステージ」を目指し、令和と共に再スタートしました。

また、南高・南高附属中は教育理念を「知性・

自主自立・創造」、教育の目的を「計画的・継続的な教育活動を展開し、横浜はもとより国際社会で活躍する志の高いリーダーとなる人材育成」としています。そして、その目的を実現させるための目標として「学びへの飽くなき探究心の育成」「自ら考え、自ら行動する力の育成」「未来を切り開く力の育成」の三つを掲げ、学校づくりを推進しています。さらに、国が推し進める「高等学校教育を含む初等中等教育改革」や「新学習指導要領への対応」も本格的に始める年になりました。

結びになりますが、東京オリンピック開催が来年に迫る中、新たな歴史を創り次世代のリーダーとなるだろう「南高生・南高附属中生」のため、会員の皆様方のお力をお借りしながら、全力で精進してまいりますので、今後とも宜しく願い申し上げます。



## 歴史ある南高校の一員として

南高等学校附属中学校 校長代理 白田 淳子

本年度4月に南高等学校附属中学校校長代理に着任いたしました。創立66年目を迎えた

歴史ある南高校の附属中代表として、大きな責任とやりがいを感じております。すでに2期生がこの3月に高校を卒業し、4月に入学した生徒は8期生となります。附属中の生徒が少しずつ新しい南高校の歴史に加わっています。

実は私は一昨年まで、すぐ近くの港南中学校の副校長として勤務してましたので、この地域の方々の南高校に対する愛情と期待を常に感じておりました。保護者の方や地域の方とお話をするとき、「実は南高の卒業生なんですよ。」とおっしゃる方の多いこと。そんな歴史の一端に関わることができたことに感謝いたします。

地域や卒業生のみなさまにこれだけ大切にされている学校であると実感するとともに、平成24年に附属

中学校が開設されてからは、地域だけではなく、横浜市の大きな期待を担う学校となり、その期待に応えなくてはならない責任の大きさを感じております。

知性・自主自立・創造という教育理念のもと、6年間の安定し、かつ充実した教育環境の中で、南高附属中は高い学力と豊かな人間性、国際社会で活躍する力の育成を目指しています。特色ある教育活動を行い、生徒の資質・能力を伸ばすため、私たち教職員も日々指導力の向上に努めています。しかし、学校は生徒と教職員だけで成り立つものではありません。ご家庭、PTA、地域、そして卒業生のみなさまに支えられていることを忘れてはいけないと思います。

同窓会がますますご発展されることを祈念するとともに、新しい時代に活躍してくれるであろう南高校、南高附属中の生徒たちを応援していただきたくお願いいたします。

どうぞよろしく願いいたします。

## 22期 平尾信幸さん / 神奈川フィルハーモニー管弦楽団 打楽器奏者

昭和53年に卒業してから41年があったという間に過ぎて、時代も平成、令和とかわりました。神奈川フィルハーモニー管弦楽団に入団して37年目に入りました。オーケストラの打楽器奏者として次々決まる曲目や内容の異なる演奏会のスケジュールをこなすため準備し、その本番が終了した瞬間に次の準備に入る日々を送っています。芸術家というより職人的な仕事と言えます。自宅が南高からほど近く毎日のように横を行き来していますが、校舎の姿もロケーションも当時の面影がなく、周辺の様子も様変わりしたせいか日々の生活の中の景観の一部として同化してしまっているのと、仕事中心の生活のせいか高校時代の思い出に浸るようなことはありませんでした。今回寄稿する機会を頂き当時のアルバムを本当に久しぶりに開けてみましたが、南高だけではなく、自分の住むこの町の変容にまず驚きました。あふれ出す懐かしい数々の思い出はこの紙面では語り尽せませんが、一番に思い出したのは学校の敷地と外との境がかなり緩

やかだった事です。ほんの一部気分持ちばかりの金網フェンスがあったものの、放課後や休日など学校の敷地には、近所の子供たちや犬の散歩をする人たちが当たり前のようにいました。当時野球場から西側のグラウンド(校歌の歌詞のように夕方の景色は美しかった)に行く斜面は今のよう石垣で整備されておらず格好の子供たちの遊び場でしたが学生も職員もあまり気にすることなく、不審者やトラブルがあったことも記憶にありません。ことほど左様にのどかな環境で学校生活自体も実にのんびり自由に満ち溢れていたと今更ながら思いだします。高い教養と深い包容力をもった個性豊かな教師陣と、信頼できる友人に囲まれた南高生活だったからこそ、音楽家を志しはしたものの不安で押しつぶされそうだった私が高校時代を乗り越えられたのだと思います。二度と戻らない輝かしい日々ですが私にとって大切な宝物だと改めて思いました。



## 54期 山田麗さん / 山田姉妹としてメジャーデビュー

はじめまして。南高54期卒業生、山田麗です。現在は歌手として、双子ソプラノデュオ「山田姉妹」として姉の華と一緒に活動しております。

在学時代は、女優として活動しており、高校1年生のとき、「3年B組金八先生第8シリーズ」に3B生徒役として出演しました。そのため欠席が多く、勉強にも追いつけませんでした。そんなとき、友達が私専用のノートを作ってくれたり、先生方が補習等をして下さったり、学校中でサポートをして下さいました。周りの方の優しさに恵まれ、その気持ちに応えようと学業との両立に励むことができ、皆様にはとても感謝しています。

高校3年生からは音楽大学声楽科受験に向けての勉強に励みました。単位制だったため、受験に必要な科目を効率的に選択することができ、また音楽練習室が完備されていたので、放課後に存分に練習できる環境が整っていました。筆記科目はもちろん、実技審査が重要な音大受験には最良の環境でした。

大学は第一希望の国立音楽大学声楽科に進学し、オペラを専門に学びました。授業やレッスン

を大切に、後悔のないよう勉強や練習に励んだ結果、首席で卒業することができました。

その後、二期会オペラ研修所でも2年間研鑽を積み、念願だった双子の姉とのCDデビューの夢を叶えることができました。

2人で活動していると、どの現場でも支えてくださる沢山の方々に出会います。自分だけでは無力で、周りの方々の支えがあってこそ私たちだということを感じ、日々感謝の気持ちでいっぱいです。

南高関係者の皆様、いつも私たちの活動を応援していただき、ありがとうございます。皆様の応援が私たちの原動力となり、幸せな気持ちで活動することができています。感謝の気持ちを忘れず、そして皆様のお気持ちに応えられるよう精進して参ります。夢は紅白歌合戦。大きな舞台から恩返しをすることが目標です。

今後とも、温かい応援をぜひよろしくお願い致します。いつもありがとうございます。



山田麗さん(写真左)



# 先生方からのメッセージ



## 充実の日々をありがとう

燕木 秀敏

北海道の道立高校が初任でした。

南高校には、昭和36年4月から昭和57年3月までの21年間にわたって勤務しました。

その後、横浜市教育委員会に転じましたが、当時を振り返ると、授業をはじめとして部活動、さまざまな学校行事などを通して充実した日々がなつかしく思い出されます。

今、東京飯田橋にある「公益社団法人全国学校図書館協議会」の仕事に関わっています。

そのほか自身のセミナーを持っていますので、県立公文書館、東戸塚地区センターなどで、「徒然草」、「枕草子」、「堤中納言物語」などを継続して講じています。

おかげさまで元気です。

「南高校同窓会」のますますの発展を願っています。



## 思いだすままに

安藤 彬

私が南高校に勤務したのは、昭和38年から6年6ヶ月でした。学生時代は柔道ばかりで他の事は勉強もせず着任したのですが、体育科の先生はもとより、個性豊かで指導力の高い先生方に恵まれ、教員生活のスタートが切れた事は大変幸せな事でした。着任しすぐに黒沢校長に呼ばれ、柔道部の顧問は当然として、山岳部とラグビー部の顧問を命じられました。山は近場の丹沢山等に少々登っただけでしたが、夏山行の訓練を丹沢で行い、甲斐駒岳・仙丈岳、また、北アルプス槍ヶ岳周辺の縦走等部員やOBと楽しく経験しました。

ラグビー部では、雨でグラウンドが使えない時柔道部で受け身の練習をし怪我の予防に努め、昭和39年関東甲信大会に初出場し、その後銚子・水戸・熊谷等に出場、春の大会で常勝慶応高校を破り優勝し冬の全国大会も夢ではないと思ったのですが…。

柔道部では私学高の壁も厚く指導して三年目、10期生の関東甲信大会に初出場、以降

12期、13期、14期と連続出場し10年連続関東出場の礎となった。国民体育大会には8期添田伸亮、9期米倉一男、10期斉藤登、12期若木正文の諸君が県代表と活躍してくれました。

全国大会には、12期生の時、団体・個人ともに決勝戦で敗れ大変悔しい思いを部員共どもいたしました。現在部は休部、廃部とか、是非復活して欲しいものです。

担任としては、9期加藤武級の副担、11期男子クラスを1年、12期生で卒業生を出し、小泉光男君を中心に良くまとまったクラスで今でも同級会を開き交流しています。そのほか戸狩や木島平でのスキー教室も思いだされる。最後に、南高は中高一貫校の強みを発揮し難関大学合格者を増加し続け、県内公立高の礎として躍進している事は心強いかぎりです。

部活動でも少人数の中、少数精鋭・文武両道で努力されている事感服いたします。

## 素晴らしき南高！益々の発展を！

保健体育科 原 悦子



在籍期間(昭和 63 年～平成 13 年、平成 24 年～現在まで)

南高での教員生活が通算 21 年目となり、この間、優しい心を持った沢山の生徒たちや保護者の皆様、先生方や関係者の方に出会うことができ、振り返ると感謝の気持ちでいっぱいになります。

南高。大きく変わっていく時代の中で、変わらない良さがここにはあります。

初任の頃、初めて見た行事が「新入生歓迎の集い」でした。南高生のエネルギーがものすごく、びっくりしたのを思い出します。現在は、生徒会主任という立場で、多くの行事に関わる生徒たちの熱い思いを、旧校舎の南高池にあった通称「ハナちゃん」が見守る生徒会室で相変わらず感じています。放課後の生徒会室の熱気は、昔も今も変わらずに存在しています。応援の声が響く「体育祭の部」や「球技大会」、素晴らしいハーモニーを聞かせてくれる「合唱コンクール」、工夫を凝らした「南高祭展示」や「風、花、憧憬の章」、「送別フェスティバル」すべてが 50 年以上も生徒たちが支え、繋いでいます。もちろん後夜祭の浴衣での「みんな輪になれ」も健在です。

南高の良さは南高生（附属中生含む）が一番良く知っているようです。生徒が南高らしさを大事にしてくれているのを感じます。

勉強はもちろん、部活動にもそれぞれが一生懸命に取り組み、放課後には、グラウンドや体育館で汗を流し、校舎からは軽音楽や吹奏楽の演奏が聞こえてくる風景は今も変わっていません。新たに附属中学生が歴史に加わり、益々活気に溢れています。

晴れた日には、房総半島、ランドマークタワー、富士山と素晴らしい景色が遠くに望めます。そんな「花かおる、風清き、憧憬の地」の南丘で、益々発展し、いつまでも南高は南高であり続けてくれることでしょう。

### 南高生徒会行事・事はじめ

南高スタート	昭和 29 年 (1954 年)
体育祭	昭和 29 年 (1954 年)
文化祭	昭和 30 年 (1955 年)
みんなで輪になれ	昭和 34 年 (1958 年)
風、花、憧憬の章	昭和 34 年 (1958 年)
合唱コンクール	昭和 35 年 (1960 年)
送別フェスティバル	昭和 36 年 (1961 年)
球技大会	昭和 38 年 (1963 年)
新入生歓迎の集い	昭和 46 年 (1971 年)



## 南高愛

床井 功子

桜花が華やかな年度始め、丹沢の山並みと富士山のシルエットが美しい夕暮れ時。南高で大好きな時期時間でした。H14 年度 (47 期 3 年)～H20 年度 (55 期 1 年)、南高生と過ごしました。着任早々、放送部 OB さんが音楽室や南高ホールの音響についてレクチャーしてくれたり、音楽部 (吹奏楽部、弦楽部) OB & OG さんが後輩にエールをおくりに来てくれたり、「南高愛」を卒業生から感じました。創立 50 周年を迎えた H15 年度入学の 50 期生から学年制が単位制に移行されましたが、脈々と受け継がれてきた「南高祭」の理念や意義が揺らぐことはありませんでした。53 期風の章では、加藤武先生が創立 30 年記念誌で語られた「南高祭」への情熱を年次職員で共有しました。南高生当時生徒会本部役員だった A 先生から伝えられた 2 年総出演の変遷と意義、45 期メイキングビデオに触発された 53 期生たちは、「2 年次総出演による作品に仕上げる」挑戦をスタート。実行委員会担当

役員が 18 号もの「風の軌跡(風の章だより)」を発行。終演後のサブアリーナで年次全員が達成感いっぱい互いに労い合う光景に、私が号泣しました。39 期から始まったファームステイの修学旅行は、ツアーでは決してできない [旅]、生涯忘れられないような [出会いと別れ] をつくりたい、という E 先生の情熱が現地の皆様の気持ちを動かして実現されました。南高には、南高生と先生方の熱い想いが融合熟成された、育つプログラムが豊富にありました。「生徒会行事も部活も勉強も頑張る南高生」に憧れ、中学生に限られた当時の学校説明会への参加は、なんと 1,000 名を超えていました。南高生活で培われた人間力は、社会人として誇れる力、自信になる力と感じていましたが、定年退職をお祝いしてくれた 50 期 3 年 2 組、吹奏楽部 54 期との関わりの中で確信しました。南高生との授業、ともに過ごす時間が大好きでした。7 年間でしたが、南高に在職できた縁に感謝の気持ちいっぱいです。皆様のご健康とご多幸をお祈りし、陰ながら応援し続けます。



# 同窓会の活動（現役との交流）



同窓会 お休み処



全ての期の卒業アルバムが閲覧できるコーナー



# 南高祭

2012年からお休み処「想いで箱」として参加しています。



生徒会と「風の章」の映像

# 清掃活動

春・秋の2回附属中学生と一緒に通学路のゴミ拾いをしています。





# 同窓会主催の活動

## 卒業直後の同期会

2006年から卒業年の5月第3日曜日に開催しています。



62期

2018年5月20日(日) 於 南高食堂 / 134名

63期



2019年5月19日(日) 於 南高食堂 / 102名

60期



2018年1月13日(土) 於 パセラリゾート関内店 / 140名

## 二十歳の同期会

2011年から成人を祝い開催しています。

61期



2019年1月19日(土) 於 パセラリゾート関内店 / 118名



# 各同期会

4期



## 喜寿を寿ぐ ～4期同期会～

2019年4月12日 KKR ポートヒル横浜（港のみえる丘公園）にて先生方も2名御臨席賜り、総勢75名が集いました。終始なごやかに楽しく旧交を温めました。いつ会っても気楽でほっとする最高の仲間たちです。

16期



2018年9月29日(土) 於 ロイヤルホール横浜 / 145名

18期



2017年10月21日(土) 於 横浜ローズホテル / 96名

20期



2017年10月7日(土) 於 クルーズ・クルーズYOKOHAMA / 130名

21期



2019年3月25日(月) 於 横浜カントリー&アスレチッククラブ / 165名

28期



2018年9月29日(土) 於 ロイヤルホール横浜 / 145名

32期



2017年10月21日(土) 於 横浜ローズホテル / 96名





40期

2017年11月25日(土) 於 Mondatta 横浜西口 / 77名



45期

横浜市立南高等学校45期同窓会  
2017年12月17日(日) 於 クルーズ・クルーズ YOKOHAMA / 90名

42期



2018年8月5日(日) 於 桜木町ブリーズベイホテル / 155名

# 部活OB会

## 美術部



### 第20回 南期会おめでとうございます

浅見先生と美術部OBの皆様との素晴らしい美術展が20回目を迎えました。また、今回は、長い間ご活躍された事務局長、6期中里さんから11期江口さんへ引き継がれました。

**第20回 南期会展**  
 (横浜市立南高等学校美術部OB会)  
 南高美術部OBを中心に始まった南期会も20回を迎えます。"20周年のありがとう"とともに、かつての仲間も併せての作品展、ご高覧いただければ幸いです。

**出品者**  
 浅見 信夫 米山 厚子 30  
 鈴木美穂子 30 岸次 珠代 40 遠山 春雄 40  
 田中 忠男 30 伊藤 洋子 30 井上 由江 30  
 中里 勇昭 60 笠嶋 悦子 60 小林めいき 70  
 新井 守 70 高橋 美穂 80 相田百合子 90  
 岡村 綾子 90 多々良道雄 100 矢田部公仁子 100  
 塚越 通子 110 藤堂 茂行 110 江口 祝 110  
 満井 幸子 110 荒井 令子 110 阿部 剛夫 150

**会場**・吉野市民プラザ Tel.045-243-9091  
 ●会場・展示時間: 地下鉄・吉野駅地下東側歩道3F  
**会期**・2019.3.27(日)~4.1(日)  
 ●10:00~18:00 最終日は18:30

連絡先: 横浜市立南高等学校 709-2-105 中里新居 090-2541-6673



中里さん 浅見先生 江口さん





# 寄付をして頂いた方の御芳名

2017年6月～2019年5月31日までに同窓会へご寄付を頂いた方々のお名前を掲載させていただきました。皆様からの浄財は会報発行など同窓会の運営費として、また母校への援助資金として大切に使用させていただきます。本来ならお一人お一人にお礼状を差し上げるところでございますが、この書面をもって代えさせていただきます。本当にありがとうございます。

※敬称略 匿名希望は除く ( )は旧姓

## 2017年度

### (1期)

佐藤 好子(春木)  
白井 澄  
鈴木 正子(中村)  
本望 裕代(服部)  
三ッ尻 春子(萩原)  
湯川 順子(武井)  
大川 和代(赤羽)  
鱈沢 裕子(森)  
水野 裕俊  
長井 眞知子(高橋)  
杉山 春美(加藤)  
杉浦 光弘  
會田 昌子  
松村 祥男  
三ッ尻 忠  
加茂 京子  
松枝 廣太郎  
高橋 健一  
志農 栄一  
繩 英明  
大森 すみ子(永井)  
(2期)  
福本 耀子(奈良)  
丸山 秀樹  
清水 一枝(金子)  
間野 祥一  
大西 とし  
小出 国蔵  
山口 肇  
山本 秀智  
福本 匡志  
石川 晴善  
木村 道弘  
木村 和子(市川)  
紙屋 康子(柏倉)  
得田 徹  
川崎 辰雄  
平沢 廣光  
細田 武彦  
(3期)  
森 靖博  
中村 祐子(石田)  
五味 絃子(渡辺)  
成瀬 郷子(森田)  
青木 秀雄  
海老塚 敷  
松村 邦子(織茂)  
丸山 隆司  
浮田 幸子  
高田 政秀  
長瀬 節子(後藤)  
薨 一栄  
飯窪 明文  
篠原 光  
内田 美智子  
(4期)  
田河 桂子(白石)  
笠原 和子(関根)  
大塚 明美(関司)  
小金丸 佳代子(富永)  
樺 紀子(浅井)  
山崎 美智世(畠山)  
家城 光代  
中村 彰  
矢崎 俊郎  
齊藤 光男  
江崎 幸子(森)  
安田 由美子  
北村 史子(門馬)  
高橋 安子(大坂)  
宝積 侑子  
堤 淳一  
川本 稔  
石井 全  
石井 渙  
高田 良子(寺澤)  
山本 和広  
佐藤 恭子(河野)  
大塚 喜英  
柳谷 紀秀  
兼松 宏維  
大江 菊宜

西川 佳孝  
矢口 素久  
天下井 清  
富島 洋子(小川)  
石川 文雄  
(5期)  
楢崎 道明  
小森 良治  
中里 南海男  
飯野 憲一  
長井 俱子(船越)  
服部 照子(長谷川)  
中島 裕代(山口)  
山崎 栄子  
大橋 一博  
高橋 正久  
高橋 幸代(安田)  
鶴田 修康  
前田 邦博  
日高 加代子(岡)  
間庭 俊子  
中井 年子(紙透)  
加藤 光枝  
廣嶋 久美子(青木)  
松崎 啓祐  
(6期)  
齋藤 治子(中村)  
康野 功  
鈴木 豊  
高井 勉  
柄沢 俊器  
齊藤 芳久  
中野 幸司  
山下 古奈宜(春田)  
中田 幹夫  
長瀬 美智子(羽山)  
木村 良雄  
小島 玲子(川崎)  
中田 健二  
掛倉 君夫  
吉田 博子(小林)  
笠嶋 悦子(三沢)  
横田 勝子(窪田)  
石坂 勝之  
佐々木 節子(大脇)  
大瀧 達三  
矢尾 知子(栗田)  
松野 隆介  
中野 邦子(笠原)  
平井 なほ江(佐野)  
高橋 勝  
鈴木 旭子(矢田部)  
山野井 正郎  
長谷川 和枝(中田)  
飯田 耕三  
(7期)  
菅沼 義久  
山田 誠  
天野 一雄  
佐原 富子(志水)  
織茂 満明  
大庭 信子(金子)  
高橋 晴海(数原)  
花田 遼子(古林)  
内木 功枝(重城)  
山崎 貞子(依田)  
田中 由喜子(横山)  
奈良橋 守一  
(8期)  
郵井 恭子(仲丸)  
清水 久美子(飯田)  
丸山 郁子(下山)  
長野 ともしも(橋本)  
工藤 紀美代(大橋)  
徳永 シズ江  
河田 啓子(山本)  
村松 茂  
青山 尚文  
野尻 恵美子(多々良)  
(9期)  
浩子(田丸)  
松本 和代(鈴木)  
長谷川 富士子(上原)  
高梨 徳

岡村 信雄  
石川 直弘  
榊原 義弘  
安藤 昭子(吉川)  
太田 容子(村上)  
花田 恵子(田中)  
大山 高英  
(10期)  
遠藤 哲夫  
小林 美江子(皆川)  
小島 邦雄  
柳内 勢津子(久世)  
藤山 京子(矢部)  
宮口 恵美子  
村井 登志子(岩崎)  
浅谷 三枝子(大山)  
中須 真寿江  
渡邊 敏子(武川)  
加美山 秀子(土信田)  
神尾 久枝(伊藤)  
海老澤 幸子  
八巻 和代  
高梨 徹  
三戸谷 二郎  
中村 守男  
清 美徳子  
青木 清  
鈴木 康夫  
蕪木 恒男  
渡辺 ひかり(大山)  
磯野 明子(鬼頭)  
荒井 弘之(近藤)  
江川 智子(小川)  
田頭 昌彦  
安藤 昌徳  
(11期)  
武岡 恵子(鈴木)  
井岡 美津枝(高木)  
坂田 孝一  
高橋 邦明  
渡部 勇  
伊藤 廣  
笹川 京次郎  
織田 眞理子(岩部)  
川島 英子(水谷)  
大瀧 順一  
美濃部 新一  
坂保 博司  
(12期)  
新倉 利枝(松原)  
鈴木 隆  
奥 登代子(本多)  
石川 麗子(小林)  
青木 千津子(飯村)  
若木 正文  
間邊 光夫  
郡山 菜都子(真鍋)  
加藤 眞一  
荒井 保男  
館野 俊雄  
和知 房子(押元)  
島田 紀子  
安達 ひさ子(渡辺)  
大槻 和子(広川)  
高藤 正明  
高谷 恵美子(松田)  
野口 敏博  
小石川 啓三  
北見 泰人  
(13期)  
栗原 時子(清水)  
鈴木 光江(岡野)  
石川 澄子(良知)  
濱田 早苗(碓井)  
宮内 明子(佐藤)  
瀬尾 のり子(高浜)  
高柳 一六  
須藤 清  
本多 豊  
吉野 孝治  
坂本 隆司  
竹内 善次  
小島 博  
島田 のり子(伊丹)

岩井 和枝(松田)  
中瀬 古 公男  
小関 裕  
佐藤 晴久  
宇田 永治  
村上 洋一  
佐々木 光道(菅野)  
(14期)  
田口 一美(フカウミ)  
佐々木 友子(白川)  
新井 恵子(中野)  
工藤 正治  
長島 悦子(大西)  
寺内 嘉章  
芳賀 聖嗣  
佃 明美  
中村 憲史郎  
寺内 悦子(古藤田)  
田中 菜穂子(真鍋)  
塩田 高明  
菊地 晶江(花井)  
市川 孝  
荒木 秀司  
潮田 勇  
渡部 佳利  
磯貝 比左夫  
石井 真一  
(15期)  
森井 厚枝(大井)  
濱窪 充子(小川)  
倉田 明雄  
榊山 佳明  
池田 哲男  
小林 幸子(野村)  
吉澤 アヤ子(山田)  
神田 恵子(行員)  
鈴木 信二  
中村 宏幸  
(16期)  
安藤 清美  
宮本 忠勝  
三木 理恵子(貴島)  
横田 英靖  
西村 圭子  
橋本 昌彦  
大野 淑子(植松)  
渡邊 活江(有賀)  
甲谷 由美子(齊藤)  
塩田 敏明  
同期一同  
(17期)  
大菊 明  
鈴木 章夫  
桑名 梨枝子(那須)  
藤島 秀興  
若嶋 哲也  
大川 伸一  
鬼頭 誠二  
井原 道子(西村)  
門倉 正幸  
立木 朗  
(18期)  
濱倉 公子(山下)  
松田 範子(小島)  
藤田 智子(榎本)  
高田 桂子(志村)  
野口 務  
横尾 隆司  
関 雅子(高岳)  
岡部 文枝  
(19期)  
成川 秀幸  
大柄根 伸次  
神野 俊人  
服部 智美(前川)  
三枝木 俊美  
宮寺 葉子(山本)  
村瀬 裕子(板橋)  
(20期)  
高田 和成  
飯田 明子  
石井 善次  
曾我 由紀子  
松元 久美子(大川)

間宮 英美  
高柳 直子(井上)  
中目 敏子(河合)  
佐々木 みどり(沖)  
山田 久仁子(大井)  
木下 素子(小柳)  
箭原 恭子(石川)  
高山 敦子  
福嶋 由美子  
新田 悦子(坂口)  
渡邊 正勝  
加藤 春見(菊地)  
大久保 史子(土馬)  
有賀 正  
里見 悦子(土林)  
小松 章  
片井 温子  
(21期)  
前田 明雄  
福永 隆澄  
吉田 秀人  
(22期)  
中島 利恵子(日黒)  
上田 英貴  
荻原 正雄  
佐山 和代(寺田)  
金成 聡之  
(23期)  
白鳥 晴美(浅野)  
加藤 みはる(本間)  
君嶋 律子(古内)  
橋本 久美子  
早野 佳恵(小島)  
重信 佳世子(飯田)  
米山 幸子  
鈴木 祐次  
(24期)  
桐山 哲明  
横田 理恵子(渡辺)  
本多 好美(星野)  
齊藤 尚子(松本)  
(25期)  
堀川 元司  
俵 秀雄  
三浦 雅之  
安藤 康浩  
(26期)  
澤井 良平  
花方 幸典  
吉田 由美(長田)  
長澤 嘉訓  
佐々木 幸子(松岡)  
伊藤 三千代(秋山)  
(27期)  
吉田 裕子(岡田)  
(28期)  
田坂 秀樹  
原 恵子(相澤)  
中川 紀子(伊藤)  
山上 修  
(29期)  
有海 智子(高野)  
(30期)  
金崎 洋子  
三ッ井 幸子  
手嶋 孝子(関)  
鈴木 孝嘉  
(31期)  
長谷川 聡  
濱田 文枝  
澤村 健太郎  
信岡 陽子(牛木)  
岩屋口 智栄  
松野 毅  
(32期)  
菊部 俊二  
柿木 清  
緑川 直子(安藤)  
中村 千鶴(相馬)  
川口 俊行  
鈴木 緑  
(33期)  
幡多 緑(齊藤)

(34期)  
木寺 昌子  
近藤 恵(貫井)  
(35期)  
中野 貴之  
石井 剛  
矢吹 進一  
海野 奈穂  
(36期)  
澤村 豪  
(37期)  
宮崎 世通(安原)  
加藤 新  
(38期)  
大山 茂伸  
梶原 喜代子(谷川)  
(39期)  
小山 崇  
山田 理恵子(桑原)  
平石 恭子(館野)  
(40期)  
石川 耕平  
(41期)  
岩村 公太  
(42期)  
近内 真一  
(45期)  
和田 直樹  
三井 弾  
(46期)  
坂本 雄司  
前田 新二  
(47期)  
渡邊 裕喜  
(49期)  
久保 範幸  
(50期)  
楠本 伸男  
(53期)  
小林 雅也  
楠本 貴久  
(54期)  
中村 恵美  
(55期)  
白川 優希  
(56期)  
鈴木 杏唯  
花木 朝香  
中村 舞  
(57期)  
江副 泰右  
倉敷 みく  
(58期)  
熱田 博紀  
佐藤 祐成  
鈴木 春菜  
松浦 涉  
大越 満里菜  
大橋 瑞生  
岩間 夏菜子  
(60期)  
花木 綾香  
内藤 森生  
水野 光穂  
佐藤 大成  
(61期)  
谷口 貴洋  
齊藤 瑞希  
横田 彩也香  
濱久 陽美  
(期が不明の方)  
大道寺 誠  
鈴木 由美子  
伊南 芳夫  
ササヤマシンイチ  
大間 愛絵  
**2018年度**  
(2期)  
平野 幸子(笹井)  
(4期)  
福田 すみ子(河内)  
(14期)  
志村 みさを

## 同窓会表彰 ～各部活動の活躍～

2017年度  
**高校 水泳部** 3年2組 たなか りこ 田中 莉子 平成29年度関東高等学校水泳競技大会 出場 200m自由形

2018年度  
**高校 弓道部** 2年4組 とみおか なおき 富岡 直希 平成30年度全国高等学校総合体育大会 弓道競技大会 出場  
 平成30年度第37回関東高等学校 弓道個人選手権選抜大会 出場



## 同窓生による在校生の学習活動への支援について

平成30年度より、卒業生による在校生の学習活動への支援を始めました。平成30年3月に卒業した62期生は、南高校に入学すると同時に、文部科学省からスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定され、総合的な学習の時間(TRY&ACT)で課題探究型の学習を続けてきた学年です。南高校でのさまざまな特色ある教育活動に実際に取り組んだ、年齢の近い先輩として、在校生に対するサポートを依頼し、期待通りの効果をあげています。



そこで、同窓会にも本事業の概要をお伝えしたところ、「母校への教育支援」という趣旨で、運営にあたり積極的なご協力とご支援をいただいております、心より感謝申し上げます次第です。

平成30年度の実績として、本校における1年間の総合的な学習の時間(TRY&ACT)のうちの6回の活動に対して、延べ28名の卒業生がサポート役として、いろいろな切り口で助言しました。課題研究発表会におけるアドバイスや、進路講演会でのプレゼンテーション等、自分が苦労したことや工夫したこと、それらを通して得られた達成感等が語られました。

また、附属中学校の3年生に向けて、高校生活や大学受験についての体験を話す機会も設けました。中学生にとっては、高校生活への期待を膨らませるとともに、将来について深く考える時間となりました。

先輩・後輩として、信頼関係に基づいた、温かみのある交流が実現しています。アドバイスを受ける後輩たちにとって有意義な取組であることはもちろん、卒業生にとっても、母校に帰り南高生活を振り返ることで、「自らの原点を確認することができた」という声もありました。

今年度も年間延べ26名の卒業生がサポートに入る予定です。62期生に加え、今春卒業した63期生も加わり、さらに充実した活動になると期待されます。

## 同窓会役員・理事・監事紹介

役 職	期	氏 名
会 長	9	石川 直弘
会長代理	13	桐生 秀昭
副 会 長	14	菊地 晶江
副 会 長	18	山形 和弥
副 会 長	18	高田 桂子
理 事	13	岩本しのぶ
理 事	20	内藤 一彦
理 事	26	粕谷 正伸
理 事	26	長澤 嘉訓
理 事	45	只木 聡
理 事	54	荒川 飛鳥

役 職	期	氏 名
理 事	60	柿崎 真優
理 事	60	川路 季輝
理 事	61	高岡 純也
理 事	61	古瀬 智美
理 事	62	飯見 遙業
理 事	62	祝 透吾
理 事	63	宮本 岳
理 事	63	佐藤 桃子
監 事	10	北見 昭八
監 事	30	荒川 尚美



# 総会のご案内

## 令和元年 横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会総会

横浜市立南高等学校・附属中学校同窓会会則第22条1の規定により、下記のように総会を開催いたします。同窓会ホームページにて総会議案書をご確認いただき、是非ともご参加くださいますようお願い申し上げます。

**日時：令和元年10月19日(土) 13時30分受付開始 14時開会**

**会場：南高食堂**

**内容：議案書(同窓会ホームページに掲載)をご覧ください。**

同窓会ホームページがご覧になれない方で、議案書が必要な方は、同封のハガキのご意見欄にその旨をお書きください。(欠席の方は、「出席します」を二重線等で消してください。)ハガキの投函は9月末までをお願いいたします。

総会后、懇親会を予定しております

※当日学校の駐車場は使用できません。公共交通機関をご利用ください。

## 同窓会ホームページのご案内

イベント情報、活動記録などタイムリーな情報を発信しています。

### 同窓生の会社・お店紹介 しています

掲載希望の方を募集中です！

普段の生活でも、同窓生の絆が広がっていくきっかけになればと願っています。



<http://nanko-ob.com>

